

## DT（二種混合）ワクチン

### 【ジフテリア 破傷風について】

**ジフテリア (Diphtheria)** : ジフテリア菌の飛沫感染でおこります。のどや鼻に強い炎症を起こし高熱や犬の吠えるような咳などの症状が現れ、炎症の老廃物からなる偽膜というものが形成されて窒息することもあります。また菌の毒素により心臓や神経が障害されます。DPTワクチンの導入により日本では何年も患者発生はありませんが、今後も海外から持ち込まれる可能性はあります。

**破傷風 (Tetanus)** : 土の中にいる破傷風菌が傷口から体内に入ることにより感染します。菌の毒素により、筋肉の強直性痙攣をおこします。口が開かない、飲み込めないなどの症状から始まり、全身の痙攣をおこすようになり、死に至ることの多い感染症です。土中に菌がいるため、感染の機会は常にあります。自然に免疫を獲得することはできません。乳幼児期にワクチンで得た免疫は成人になっても持続しており、母体が免疫をもっていることで出生時に新生児が破傷風にかかるのを防ぐことができます。

### 【DT（2種混合）ワクチンについて】

菌が産生する毒素を取り出して毒性をなくした不活化ワクチンです。

幼児期に受けたDPTまたはDPT-IPVワクチンで基礎免疫はついています。が、長期間免疫を保つために一定の間隔（約10年）での追加接種が必要になります。

副反応として接種部位の発赤、腫脹、硬結がみられることがあります。

【接種方法】 ワクチン0.1mlを皮下に接種します。

【定期接種できる期間】 11歳から13歳になる日の前日まで

【スケジュール】 上記期間に1回接種します。

標準接種年齢は11歳です。

【接種費用】 無料（23区内の予防接種予診票を持参し、記載された有効期限内であれば公費負担）

ただし23区内の予診票を持参しないで接種 対象年齢を超えての接種

指定医療機関以外での接種 規定の回数を超えての接種 は有料

【持参するもの】 予防接種予診票（体温以外の項目をあらかじめ記入しておいてください。）

母子健康手帳